

11月17－18日東大地震研究所・研究集会

「地学教育の現状とその改革」

日時： 2012年11月17日（土）および18日（日）

場所： 東京大学地震研究所2号館2階第二会議室（3ページの地図参照）

参加費： 無料（受付けでご所属とお名前、連絡先を記入していただきます）

11月17日(土)

- 9:30 受付け開始

I. 大学・大学院の地学教育（10:00－12:00）司会（竹本修三）

- 10:00－10:30 次世代人材育成に関する大学・大学院教育の課題：
福田洋一（京大大学院理学研究科）
- 10:30－10:55 地球・惑星科学における大学教育の質保証について：
中村 尚（東京大学 先端科学技術研究センター）
- 10:55－11:20 博士の多様なキャリアパス：Question からキャリアを創る：
武田隆太・吉田丈治（(株)リバネス）
- 11:20－11:40 17-19世紀の貴重図書による実物教育－京都大学の例：
前田晴良（九州大学総合研究博物館）
- 11:30－12:00 教員養成課程における大学地学・防災教育の現状：
角縁 進（佐賀大学文化教育学部）

II. 小中高校の地学教育（13:30－16:00）司会（畠山正恒・瀧上 豊）

- 13:30－13:55 学習指導要領のよみかた
内記昭彦（東京都立三田高校）
- 13:55－14:25 新指導要領と『地学基礎』教科書の制作：
西久保孝弘（東京書籍株式会社・編集局・理科編集部）
- 14:25－14:45 中学校における地学教育の現状と課題：
能見郁永（さいたま市立指扇中学校）

- 14:45－15:10 指導要領改訂に伴う各校教育課程編成の実際－「地学基礎」開講闘争－：
宮嶋 敏（埼玉県立深谷第一高校）
- 15:10－15:40 学校教育と学術コミュニティの関わりについて：
川辺文久（文部科学省）
- 15:40－16:00 SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校の地学教育
－埼玉県立熊谷高校の場合：
ト部厚志（新潟大学災害・復興科学研究所）・小幡喜一（埼玉県立熊谷高校）

16:00－16:10 休憩

16:10－17:40 総合討論

11月18日（日）

- 9:00 受付開始

III. 地学・災害科学のアウトリーチ活動 司会（瀧瀬一起）

- 9:30-9:50 地学オリンピックの最近の動き：
瀧上豊(関東学園大学経済学部)・杉 憲子(共立女子大学家政学部)
- 9:50-10:10 ジオパークと地学・防災教育：
尾池和夫(国際高等研究所)
- 10:10-10:30 阿蘇火山博物館における地学教育のアウトリーチ：
須藤靖明（阿蘇火山博物館）

10:30-10:45 休憩

IV. ポスト3.11の防災教育 司会（大木聖子）

- 10:45-10:50 ポスト3.11の防災教育 趣旨説明：
大木聖子（東京大学地震研究所）
- 10:50-11:10 あきる野市増戸地区の小中連携・地域との連携：
田島弘之（あきる野市立増戸中学校長）

- 11:10-11:30 地方気象台と教育委員会との連携
永田俊光 (熊谷地方気象台, 埼玉県学校防災アドバイザー)
- 11:30-12:00 3.11 を乗り越えて—南三陸町立歌津中学校のあの日, そして今—
地域を愛し, 地域に根ざして生き生きと活躍する生徒の育成:
佐藤公治 (南三陸町立歌津中学校防災主任)
- 12:00-12:20 総合討論
- 12:30-14:00 懇親会

